

「純粋レチノール」に角層柔軟化作用があることを発見

資生堂は、独自開発した「肌内外3D弾性イメーシング技術」を活用し、角層が硬化すると、表情などで皮ふが動く際に真皮に加わるメカニカルストレスが増大し、シワの根本原因「2層(角層と真皮)の肌ギャップ」を進行させることを確認した。また、「純粋レチノール」によるシワ改善の効果を確かめた。さらに、角層を十分に発揮させるために、安定に保ち、肌に確実に届ける工夫が必要だが、同社は30年以上にわたるレチノール研究の中で、製品中に配合できる独自技術を開発し、「純粋レチノール」の効果を実証している。また、この効果を実証している。また、この効果を実証している。

「純粋レチノール」は、高い効果を示した。同社は、30年以上にわたるレチノール研究の中で、製品中に配合できる独自技術を開発し、「純粋レチノール」の効果を実証している。また、この効果を実証している。また、この効果を実証している。



●シワの根本原因と、「純粋レチノール」の皮ふ全層への総合的な効果

研究により、真皮に「新規効果取得の」加わるメカニカルストレスは、コラーゲン分解酵素の産生を促進させるという知見が見出されている。角層が硬い状態に、純粋レチノールを配合したクリームを半顔塗りし、12週間使用した結果、角層の硬さを低下させ、真皮の弾性を向上させたことが確認された。

シワの根本原因として、角層の硬化が皮ふ表面から奥へのシワ進行につながることが示唆されている。角層を柔らかく保つことが重要であることが示された。

純粋レチノールには、角層を生理的・根本的に柔らかくする効果があることが示された。純粋レチノールと併用することで、根本的な肌の柔軟化を引き起こすことが示された。

シワの根本原因と、「純粋レチノール」の皮ふ全層への総合的な効果

10〜80代の皮膚における老化細胞の数について解析

日本メナード化粧品は、藤田医科大学が、加齢とともにその除去機能が低下していき、その結果、老化細胞の蓄積が増大していくことがわかった。

10〜80代の皮膚における老化細胞の数について解析した。その結果、30歳頃からは、老化細胞の数が急激に増加し始める。その結果、老化細胞の蓄積が増大していくことがわかった。

この発見から、皮膚の老化防止に重要な役割を果たすことがわかった。

H & B

日記

先日、宮崎監督の最新作「君たちはどう生きるか」を観た。生活者の足を映画館に運ぶというテーマが、本作にはよく表れている。また、この効果を実証している。

「純粋レチノール」の効果を実証している。また、この効果を実証している。また、この効果を実証している。

映画宣伝

映画「純粋レチノール」の宣伝について。角層が硬い状態に、純粋レチノールを配合したクリームを半顔塗りし、12週間使用した結果、角層の硬さを低下させ、真皮の弾性を向上させたことが確認された。

新生児でも安全に使えるスキンケア製剤を確認

コーセーは、小児アレルギーの専門医療チーム(千葉愛友会記念病院)と共同で実施している「妊婦への教育介入による赤ちゃんのアレルギー発症予防に関する研究」に、研究資料として提供した乳剤型スキンケア製剤が生後3日以降の新生児(生後28日までの赤ちゃん)にも安全に使用できることを確認した。また、一般的に乾燥しがちな赤ちゃんの肌に対し、4ヶ月間の継続使用により肌の水分量が増加することを確認した。

近年、子どもへのスキンケアの重要性が認識されている。適切なスキンケアを行うことで、赤ちゃんの肌を健康に保つことができる。コーセーは、小児アレルギー専門チームと共同で、適切なスキンケアを行うことで、赤ちゃんの肌を健康に保つことができることを確認した。

この研究の結果、赤ちゃんの肌の水分量が増加することを確認した。また、一般的に乾燥しがちな赤ちゃんの肌に対し、4ヶ月間の継続使用により肌の水分量が増加することを確認した。

この研究の結果、赤ちゃんの肌の水分量が増加することを確認した。また、一般的に乾燥しがちな赤ちゃんの肌に対し、4ヶ月間の継続使用により肌の水分量が増加することを確認した。

